



2023年度 市政懇談会
＜町田第二地区町内会・自治会連合会＞

次 第

[日時] 2023年10月27日(金) 18:30 ～ 20:00

[場所] 市庁舎 市民協働おうえんルーム

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 藤川 孝之

○ 連合会長の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 会長 中 一登

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 町田市都市計画道路3・3・36号 相原鶴間線について

【道路部】

- 2 さるびあ図書館について

【生涯学習部】

- 3 東京消防庁町田消防署の跡地について

【政策経営部】

- 4 シバヒロについて

【政策経営部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 西山 忍

2023年度 町田第二地区町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録（要旨）

[日 時] 2023年10月27日（金）18：30～20：00

[場 所] 市庁舎 市民協働おうえんルーム

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

政策経営部長 神蔵 重徳

道路部長 萩野 功一

都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳

生涯学習部長 佐藤 浩子

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

町田第二地区町内会・自治会連合会長 ほか10名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第二地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 町田市都市計画道路3・3・36号 相原鶴間線について

(1) 2024年の春に、本町田小学校付近から町田市民病院付近までの区間の工事が完了すると聞いています。町田街道のバイパスとして機能することが期待されていることもあり、地域でも高い関心があります。工事の進捗状況と今後の見通しをお聞かせください。

【回答】

道路部長

まず、町田都市計画道路3・3・36号相原鶴間線の木曾団地南交差点から町田市民病院東交差点までの区間の事業にあたりましては、町田第二地区の皆さまに、橋梁名称の選定や橋名板の揮毫（書下ろし）について、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、現在の工事状況について東京都に確認したところ、歩道と車道の分離や中央分離帯を構築するための街築工事及び照明設置工事を進めており、

一部区間では、舗装工事にも着手しているとのことでした。

今後の見通しについてでございますが、現在施工中の工事は、2024年2月末に完了させ、春頃の開通を目指していると伺っております。

開通にあたりましては、町田市の広報等にも掲載して、広くお知らせしてまいります。

《質疑》

(司会) 地区連合会副会長

買収とか、その先の予定路線の計画は、どういう状況にあるのか分かりますか。分かる範囲でお答えいただければ。

道路部長

その先の計画は協和キリンの裏を通過して、サン町田旭体育館の菅原神社寄りの際を通過して、町田高校の裏側に行くルートになります。現在、既に事業着手をしておりますが、まだ土地を買い始めたばかりですが、区間としては町田高校そばにあるセブンイレブンの少し先までが事業区間になっており、その部分を今東京都が用地取得を始めています。町田市でも、セブンイレブンの真向かいを、4、5年前になります。先行買収をして道路整備が少しでも円滑に進むように協力をしている状況です。いつ終わるかというのは明言できませんが、今、用地取得に取りかかっているという状況でご理解いただければ。

みどりヶ丘自治会

みどりヶ丘は目の前になるのですけれども、本町田小学校の目の前の交差する道路が、みどりヶ丘はここであって、今このところに大きな道路ができるのですが、ここを渡るかたちのもので、この先のところの道路が駄目になって、ここが歩道になるのです。今、車が通過するのは畑のど真ん中なのですけれども、例えば誘導員など、大きな通りは何かそういうかたちのものはやるのですか。それとも、ボタンを押して、私は町田の出身なのですけれども、昔、集団登校とって大きいお兄ちゃんたちがついて回りましたけれども、今ばらばらに行っています。ここが今野道で通れるようになっているわけなのです。これを塞いでしまうので、これがストップと同時に、ここにたしか横断歩道ができると聞いたのです。そうすると、こうびゅんびゅん行く中で何かしら補助があるのであれば。皆さん畑のど真ん中を歩いているだけなので、急に大きな道路できて、1年生から6年生までそこを渡らなければいけないということになりますので、何かあるのかどうかということです。

道路部長

道路の構造としては、ここに横断歩道ができるということであれば渡ることとはできると思うのですが、誰かが立つことについては、今後、学校との調整になり、東京都が補助を出すことは一般的にはありません。一番いいのは、少し遠回りになるかもしれませんが、信号機のあるところ、本町田小前まで来るか、前にコイン洗車場があった辺りで安全に渡ることだと思います。また、小学校にもお話は当然行っていると思いますから、道路ができた段階で通学路をどうするのか、地域の中でお話をさせていただければと思います。

みどりヶ丘自治会

僕は、ここに横断歩道ができるとちらっと聞いたのです。そうすると、今通学しているところの裏から入ることだと思ったのです。ただ、ここを塞いでしまうとなると、ここにみどりヶ丘があるので、この辺の一带の人たちは、こちら側から回るか、こちら側から回っていかないといけないと思ったので、都の関係だと思えますけれども、すみません。

地区連合会会長

今のところに横断歩道ができるというのは聞いているのです。信号をどうするかということがある。あれだけ広い幅の道路を子どもたちが渡るとなると、少し難しいと思っておりますので、何とか信号ができればいいと思っております。しかし、あそこに信号ができると、そのすぐ下に大きい道路の交差点がありますし、相当な車の量になりますから、警察ともよく相談して事故が起きないようにしなければいいと思っております。また警察の方とも相談をしていきますので、そのときは、部長、応援をよろしく。

道路部長

はい。

中町中央町内会

一番端が市民病院のところに突き当たりますよね。その信号がどうなるのか。あれが直進と右折の道路で分かれていきますよね。ちらっと聞いたら、今ある信号機がなくなって新しく別のところに造るのではないかとか、いろいろなうわさがありまして、接合部分の信号機がどうなるか教えてください。

道路部長

今回つながる道路は、新しい道路が優先になって、今、オートボックス、滝の沢の方から来る道路はTの字でぶつかる形になります。本町田小のほうから来る道が優先になって、この部分は信号制御されます。多分一番気にな

られているのは協和麒麟脇の通りだと思います。これが市民病院の東側の入り口、真っすぐ行くとオーケーのほうに抜けていく道です。ここの信号機がなくなるかたちになります。どうしてかといいますと、まず、信号機があまりにも近いことと、車道のレーンが分かれてくるからです。こちらが直進レーンで、こちらが現道のほうに行く左折レーンになるので、レーンが少し膨らんでくる場所になります。そのため、東京都と警察が協議した結果、現在の信号は廃止で、新しい交差点に信号機がついて横断歩道もできますので、こちらで渡っていただくかたちになります。

将来的には、ここから協和麒麟脇へ道路がもう1回曲がります。現道を全部取り込んだかたちで都市計画道路ができますので、永遠にこの状態ではなくて、今後この道路がさらにカーブをしていく感じになります。現道の協和麒麟の裏の道路に重なるように都市計画道路が入っておりまして、これが25mの道路になるのです。ここから体育館の脇を通過して、町田高校の裏を通過していくかたちで、まだまだ時間がかかりますが、将来的には重なるので信号は必要なくなります。今の段階では、多分一番お困りなのは、車が出てくるときに左折はすぐにできるが、右折に少し難があることで、できれば現在の信号機から少し離れたところや、今度新しい道ができれば、本町田小の脇からこちらへ来るなど、いろいろなルートを選択肢はありますので、安全なルートを通行していただきたいと考えております。

中町中央町内会

信号機を設置するとき、信号機と信号機の間隔が短いのでつけられませんということをよく聞くのですけれども、大ざっぱに言うと、どのくらい離れていけばいいのですか。というのは、私の町内会でもつけてもらいたいということが1回あったと思うのですけれども、そういう理由で断られたのです。けれども、よく見ていると、信号機の間隔というのは短いのではないかと思うのです。どうしても通行量が多いとか、歩行者が多いところは、やはりつけたほうがいいのではないかと私は思っています。

道路部長

信号機の間隔はどれくらいかということですが、一般的には、短いところでも通常300mくらいは取っているかと。あまり近過ぎると、例えば、100mくらいしかない場合だと、手前の信号を見ているつもりが奥の信号を見てしまって誤認する可能性があるということもよく警察からお聞きしますので、そういった意味では、あまり近いというのは好ましくない。運転者が間違えてしまう。歩行者にとってはいっぱいあったほうがいいのですが、逆に車をスムーズに流すという意味ではある程度一定間隔取るものと認識しております。

中町中央町内会

でも、300mも離れていないで設置されているところはたくさんあると思うのです。100mぐらいしか離れていないところもあるのではないかと思います。

中町中央町内会

先ほどの蒸し返しになるのですが、左肩の横断歩道ができるところ、あの先の桜美林のほうに行く道を私はしょっちゅう通るのです。実際にはスピードを40kmとしているのですが、ほとんどが50kmぐらい出しているのです。町田街道とつながると交通量も増えるし、学童が渡るタイミングは非常に危険になると思うのです。ですから、今の計画の段階から、あそこの歩道のところに信号をつけることをお願いしたいと思います。横断歩道だけつくって、学童がどうして安全に渡れるのですか。そこのところを考えてください。学童は大事です。宝です。お願いします。

道路部長

先ほどの件なのですが、信号機の間隔は基準だと最低150mということで規定がされているそうです。

先ほどの横断歩道ができるところに信号機をとということですが、あくまでも信号機は警察が安全を考えて道路管理者、今回の場合は東京都と協議をしてつける、つけないの判断をします。その上で今回はつけないという判断をされたものです。少し遠回りになるということもありますけれども、今後、お子さんたちがより安全に渡れるルートはどこなのかということも含めて学校と協議すると良いと思っております。

1 町田市都市計画道路3・3・36号 相原鶴間線について

(2) あわせて、旭町陸橋の建設に伴い一時閉鎖された本町田ひまわり児童遊園について、陸橋建設後の再開計画をお聞かせください。

【回答】

都市整備担当部長

本町田ひまわり児童遊園につきましては、再整備に向けた設計図作成が、2023年8月に完了いたしました。現在は、工事を発注するための金額算出や、東京都の敷地の一部を公園として利用するための手続きを行っております。

今後の予定といたしましては、2023年12月までに工事の契約を行い、

2024年3月に工事を完成させ、2024年4月に開園する予定です。

《質疑》

(司会) 地区連合会副会長

ありがとうございました。ということは開通と同時ぐらいに再開されるという理解でよろしいわけですね。

都市整備担当部長

はい、そうです。

2 さるびあ図書館について

昨年度の市政懇談会では、地域の意見を聞きながら2026年度まで「中央図書館」との集約を検討する旨の答弁がありました。その後の検討状況と今後の展望をお聞かせください。

【回答】

生涯学習部長

さるびあ図書館について、お答えいたします。

さるびあ図書館と中央図書館の集約につきましては、「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」に基づき、2026年度に「集約方法の決定」をすることとしております。集約方法の検討にあたりましては、地域の皆さまからのご意見を幅広く伺いながら進めているところでございます。2020年からこれまでの間、31団体、約150名の方々からご意見をいただいております。

また、2023年6月に町田第二地区町内会・自治会の皆さまと、8月には青少年健全育成町田地区委員会との方々との意見交換会を開催いたしました。

意見交換会では、町田市の公共施設と図書館の再編についてご説明するとともに「さるびあ図書館の今後」や、「地域の未来世代に手渡したい公共サービスの姿」などについてご意見をいただくことができました。今後、今年度中に青少年健全育成森野地区委員会の皆さまとの意見交換会も開催する予定でございます。

2024年度及び2025年度も、引き続き地域の皆さまと意見交換を進めるとともに、図書館利用者や子ども・若者世代など幅広い方々からのご意見も伺いたいと考えております。

このような意見交換を通じて、集約方法の検討をさらに深めてまいります。

《質疑》

中町中央町内会

先ほどご紹介がありました第二地区協議会とか、青少年健全育成地区委員会で意見を申し上げてきましたが、集約というのはさるびあ図書館がなくなるという表現なので、それはやめてほしいと何度もお願いしているのです。では、どういう方法があるのか、存続させるにはどういうアイデアがあるのかということで、私たち町内会でもいろいろ提案をさせていただいたり、機能重視ということでご紹介をさせていただいているのです。とりわけ、さるびあ図書館の機能をもう1度市長さんには再認識していただきたいと思うのですが、さるびあ図書館というのは、私は学校の教員をやっている、実は学校図書館とタイアップしているのです。どういうことかといいますと、さるびあ図書館は学校図書館と公共図書館をつなぐネットワークになっているのです。私は学校図書館の中で担当教員としてやってきましたが、学校図書館にない資料を公共図書館に頼むとき、さるびあ図書館が窓口なのです。そういう機能をやっていただいています、本当に助かりました。それから、図書資料の廃棄だとかもアドバイスをいただきます。そういうように、学校図書館と公共図書館をつなぐ大事な施設になっているのです。

それから、今、市長はゼルビアのJ1昇格でこれから町田を本当にアピールできるということですが、私は図書館からいっても、文化の町ということで考えますと、全国を調べますと子ども図書館というのがあちらこちらにあるのです。ですから、さるびあ図書館の機能を重視するならば、なくして集約ばかりを求められていらっしゃるかもしれませんが、あの場にあのままの形でなくてもいいです。しかし、子どもたちにとって、町田はこのような図書館があるのだ、すごいねと、市長を先頭に子どもを育てる大事な町なのだと、そういうアピールの仕方があると思うのです。ですから、スポーツの町田でもありますが、文化の町田、図書館をなくして子どもたちに踏切の向こうの中央図書館まで行きなさいなんて誰も行きません。それよりは、あそこでどのような図書館をつくるのかということで様々なアイデアを出させていただいております。ですので、今の中心市街地、私たちのところに保健所もありますし、それからすみれ教室、いろいろな再編がありますが、あそここそ集約していただいて結構ですので、総合的にあの場で何か新しい図書館をそこにつくっていただくというようなアイデアもあると思います。集約というのは中央図書館に移す、移すばかりで、何とか地域で残すというアイデアを、ぜひ2026年まで私たちも協力いたしますので、職員の皆さんと一緒に何とかあそここの場で残せるようによろしくお願いいたします。

生涯学習部長

さるびあ図書館につきましては、特徴的な機能といたしまして学校の支援

というものを継続して長年やってきているところでございます。それは今ご紹介いただいたとおりだと認識しております。集約ということでございますが、さるびあ図書館と中央図書館の集約というものについては、2つの図書館が持つ重複している機能、それぞれ独自に持っている機能を整理いたしまして、建物の総量を減らしつつ再配置をすることと考えております。今後も、皆様のご意見やお知恵を拝借しながら進めてまいりたいと考えております。

ただ、公共施設を再編ということになりますと、その考えの下、図書館というものを考えたときに、図書館のサービスを継続して将来的にしっかりと行っていくということを考えますと、再編というものはどうしても必要なものだと考えておりますので、そこはご理解をいただければと思っております。

中町中央町内会

もう一つ役割があったので追加です。さるびあ図書館は、さるびあ図書館を拠点にして移動図書館を行っております。要するに、町田にはさるびあ図書館から移動する移動図書館を待ちわびている市民がたくさんいるのです。これからは中央図書館がそういう機能を果たしていくという集約なのかもしれませんが、さるびあ図書館はそういう機能も持っているのです。ですので、小さなお子さんから高齢者の皆さんまで、なかなか公共図書館に通えないのだけれども、自分の町にこうやって来てくれるサービスを担っているのだということは、建物を集約して機能はやっていくのだといっても、やはり職員の数もありましょうし、ですから、それは大事にして残していただければと思っております。

生涯学習部長

ただいまご紹介いただきました移動図書館につきましても、さるびあ図書館を拠点といたしまして2台運行をしているところでございます。

中町中央町内会

さるびあ図書館から中央図書館に移動するということは、児童がどういうルートで中央図書館まで行くかというのを、机上の計画だけではなくて子ども目線で歩いていただきたいのです。どういう問題があるか見えてくると思うのです。私のうがった考えですが、さるびあ図書館を廃止すると考えている、そういう具合に見えます。ですから、何人かで歩いていただいて問題点を見つけてください。そうすると、これは集約できないなということが見えると思います。大人目線ではなくて子ども目線で歩いてください。お願いします。

生涯学習部長

ありがとうございます。そのあたりもしっかりとやってまいりたいと思います。

先ほどの移動図書館の件でございますが、2台さるびあ図書館を拠点として今37か所を回らせていただいているところでございます。ただ、移動図書館は1か所に40分か50分ぐらい、2週間に1度という頻度で回らせていただいております。例えば、悪天候の場合には運行を見合わせて、そうなりますと1か月に1回という状況になってしまいます。加えまして、移動図書館を利用される方々が今少なくなっている、これもまた現状でございます。それはまずお伝えをさせていただきたいと思います。

それから、移動図書館という本をお渡しできる機会とは別に、図書館では今予約の本の受渡しサービスというものに力を入れておまして、第二地区内の本町田にあります久美堂にもその拠点を1つ、今年度の5月になりますが、置かせていただきまして、非常に多くの方にご利用いただいていることも加えてお伝えさせていただきます。

(司会) 地区連合会副会長

ありがとうございました。

もう一つ、一中の図書室のことがあまり出てこないのですけれども、町田一中に新しく図書室ができて地元開放されます。その辺のPRも重ねてやっていただければ、さるびあ図書館の問題は地元からするとなくしてもらいたくないというのは分かると思うのですけれども、その辺との兼ね合いで一中をどういうふうを活用していくのかとかを考えていただければと思います。これは難しい問題で答えはこの場ではなかなか出ないと思いますので、また意見交換会の中で詰めていただければと思います。

3 東京消防庁町田消防署の跡地について

昨年度の市政懇談会では、暫定利用となるが「健康福祉会館」と「保健所中町庁舎」を集約する場合の仮設の事務用地としての活用を検討していること、効果的な活用についてさまざまな可能性を検討していく旨の答弁がありました。効果的な活用についてのその後の検討状況をお知らせください。

【回答】

政策経営部長

東京消防庁町田消防署の跡地について、お答えいたします。

まず、健康福祉会館と保健所中町庁舎の2つの保健施設の集約につきまして、これまでの検討状況をご説明いたします。

2022年3月に、現在の健康福祉会館を建替え、2つの保健施設の機能

を集約する方向性をお示しいたしました。

ところが、2022年6月に児童福祉法等の改正があり、健康福祉会館と保健所中町庁舎で提供している、妊産婦の相談機能や乳幼児の健診などの母子保健の機能と、本庁舎の子ども生活部が担っている子育て支援に関する機能を併せ持つ「こども家庭センター」の設置が、市町村の努力義務と位置付けられました。

そこで、2023年3月に、町田市では、2つの保健施設から母子保健等の機能と休日・準夜急患こどもクリニックを、境川団地地区にある「教育センター」（旧忠生第四小学校）に整備を予定している（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設に集約することを決定しました。

このことから、健康福祉会館と保健所中町庁舎に残った各機能の集約についても改めて見直しが必要となり、具体的には、飲食店等の営業許可などの食品衛生や、公衆浴場の営業許可などの環境衛生に加え、動物の愛護などの機能について、「どこにどのように配置すべきか」、そして「必要な施設の規模はどの程度になるか」などの検討を進めているところです。

このような背景から、町田消防署跡地の活用につきましては、昨年申し上げた2つの保健施設に残った機能をまとめた新施設の仮設事務用地以外にも、新施設そのものの建設用地としての可能性も含めて、引き続き検討を進めてまいります。

《質疑》

中町中央町内会

今、健康福祉会館と保健所の機能を併せ持った新施設のようなものを可能性も含めて検討ということをお聞きしたのですが、もう市長もご存じだと思うのですが、今、消防団の第1分団の隊員になる方が実は非常に少ないのです。この間、一覧表が配られまして、私たちの管轄の第1分団も、シバヒロでまち2フェスをやったときにも来られてお話をされていましたが、今、本町田小のほうに消防署が移転しました。私たちの町からすぐ駆けつけてくれる緊急車両がなくなってしまったわけです。ですので、その検討がどれぐらいかかるのか分かりませんが、今ずっと空けているわけですね。だから、あの跡地に緊急車両、消防車両を置いて駆けつけていただくような機能は、その間でもできないのかどうか要望を出したのですが、いかがなものでしょうか。

政策経営部長

現在、せりがや会館で緊急車両の待機が行われております。消防署跡地にそれを持ってくることにつきましては、今度はせりがや会館をどうするのかということも含めまして検討が必要になってきます。必ず新しい保健施設を

消防署跡地につくるのだということを決めているわけではなくて、様々な可能性について検討を進めているところです。昨年、2つの保健施設を併せて新しい保護施設を健康福祉会館に作る際、消防署跡地を仮設用地として考えていますというお話をさせていただいたのですが、新しい保護施設から母子保健に関する機能が抜けてしまいましたので、そもそも新しい保健施設自体をどうするかを第一に考えなければならなくなりました。その際に仮設をつくる必要があるのか、場合によっては小規模にして新しい施設を消防署跡地に持ってくるなどの検討を進めています。加えて、せりがや会館をどうするのかなど、町田駅周辺の公共施設を併せながら考えていくというのがこれから必要になってくると認識しております。

地区連合会長

中心的部分で集約だとか整備される間、今の空いている場所をそのままにしておくのですか。どうも見ているともったいないと。具体的に動くまでは中学生の部活の運動場にでも使えるようなことは考えていらっしやらないのですか。

政策経営部長

ご指摘はごもっともだと思っております。今、空き地にしてしまっていることは反省点でございます。ただ、トイレも撤去してしまったので、運動場として使うことはなかなか難しいです。言い訳になってしまうのですが、これまでは消防署跡地の道路を挟んで目の前にある南多摩東部建設事務所、都税事務所の建て替えの際に使用したいという話など、いろいろな用途の可能性があったので、なかなかこれだと踏み切れなかったのです。今は土地利用までの時間が見えてきたので、その間、たとえ2年、3年でも何か土地利用を図ることができます。地域の方にご利用いただくのもありでしょうし、場合によってはタイムズみたいな駐車場でご利用いただくのもありでしょう。短期暫定利用も含めて考えていく必要があると認識しております。

中町中央町内会

せりがや会館のほうに置いているから置けないのだという印象があったのですが、これも私たちから言わせると、第1分団で同じ地域になるのですが、線路の向こうなのです。ですので、第二地区のほうに住民の皆さんの緊急対応、消防車なり緊急の火災に対応する緊急車両が置けないかと。だから、2か所になるかもしれませんが、地域としては違いますので、そういうお願いなのです。

政策経営部長

消防施設につきましても適正な配置というのがありますので、その点につきましても東京都が必要に応じて対応することになると認識しております。

4 シバヒロについて

2014年5月に旧庁舎の跡地にできたシバヒロは、現在では、親子が遊んだり、サッカー教室等のイベントが開催されたりと賑わいを見せています。ただし、多目的広場としてのシバヒロはあくまでも暫定的なものだったと認識しています。シバヒロができて9年が過ぎましたが、今後どのように活用する計画があるのかをお聞かせください。

もし、現在のような多目的広場として活用し続けるのであれば、夏でも安心して遊べるよう、日差しを遮るための木を植えていただきますようお願いいたします。

【回答】

政策経営部長

町田シバヒロの今後の活用の計画について、お答えいたします。

町田シバヒロは、2014年から多くの人々を呼び込む魅力を持ったイベントを開催する芝生の広場として、暫定的にご利用いただいているところです。

この9年間、芝生の広場として、市民をはじめ多くの方々に、スポーツイベントや、フリーマーケット、ワークショップなど様々なイベントでご利用いただけてきました。

また、イベントのない日だけを見ましても、毎年10万人以上の方にご利用いただいております。これは、この広い芝生の広場が、近隣の多くの方から、心地よい空間として喜ばれ、受け入れられているという答えであると思います。

一方で、2021年度に町田市教育委員会が策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」では、町田第一小学校の建替えに向けた検討が、2031年度にスタートし、2034年度からは、仮校舎建設を含む建替え工事が始まる予定でございます。

老朽化している町田第一小学校の建替えをすとなれば、町田第一小学校の敷地だけでは狭いことから、隣接している町田シバヒロを一時的に使用する可能性が出てまいりました。

そうした土地利用の可能性を見据えますと、ひとまず町田第一小学校の建替えの着手までは、引き続き、町田シバヒロとして利用していくことになると考えております。

次に、ご要望いただいている日差しを遮るための植樹についてございま

すが、将来的な、町田第一小学校の建替え用地としての土地利用を踏まえますと、現時点での植樹などは、難しいものと考えております。

夏の日差し対策といたしましては、イベントのない一般利用時には、パラソルやサンシェード（小型のドーム型簡易テント）の貸出も行っておりますので、ご利用いただきたいと思っております。

《質疑》

中町中央町内会

ここは木を全面的に植えてほしいという意味ではないのです。端のほうにベンチがありますよね。あのそばだけでも木陰があると全然違うと思っております。真ん中の芝生の空間はとても大事ですし、建て替えのことも考えますと、真ん中に植樹も無理だと思っております。せめてベンチサイドの木陰ぐらいは、開放されているときに休まれたり、ご高齢の方が散歩コースにされております。ですので、ベンチサイドだけでもできないかということなのですが、いかがでしょうか。

政策経営部長

どうかたちであれ、日陰をつくるということは必要であると思っております。今回、貸出しのお話をさせていただきましたが、ほかにどのようなことができるのかを検討する余地はあると思っております。暑い中、イベント以外の普通のごときにこれだけ多くの市民の方、近隣の方にご利用いただいているということも踏まえまして、利用環境を考える必要があると認識しております。ただ、樹木がいいのかということ、皆さんがご希望になるような日陰を作る大きさにはなかなかならないということもありますので、夏場の日差しをしっかりと遮る日陰をつくること、一方で冬場は逆に日差しがあったほうがよいということもあると思っておりますので、どのような手法が良いか検討する必要があると思っております。

地区連合会会長

私ども第二地区は、まち2フェス i n シバヒロということで9月16日に借用させていただいたのですけれども、先ほど話が出ました日陰の問題は、ああいうイベントをやりますと、我々はテントを全部持ち込みなのです。このようなことを言っただけは悪いけれども、あそこにある舞台も組み立てるようにはなっていますけれども、リンゴ箱を並べた程度でバックに何もなかったところなのです。ですので、あそこをイベントで使えるのであれば、少し機能を整えていただければありがたい。私どもは、この前、町内会・自治会連合会から持っていったテントでは足りないから、10張り以上ほかの団体から借りましたので、小型のドーム型簡易テントも必要でしょうけれども、イベン

トで使えるようなテントを少し用意していただければありがたい。

ご覧になったと思いますけれども、あそこの倉庫は本当にぎゅうぎゅうに入っているのです。椅子はふだんは外に出しています。いざ使うとなれば、あの椅子を洗って、拭いて、それから利用させてもらうようになる。これはコンベンション協会にお願いするというのもなかなか大変なのだけれども、市の予算で協力していただいで、広く使えることができればいいと思っていますので、ひとつ考えていただければありがたいと思います。よろしくお願ひします。

政策経営部長

お祭りにご利用いただき、本当にありがとうございます。そのようなかたちで地域の方に親しんでいただくのが一番なのかと思っています。今お話がありましたように、観光コンベンション協会に管理運営をお願いしております。利用者サービス向上、民間イベント利用の促進ということも含めまして、観光コンベンション協会へは地域団体が利用する際にはどのようなサービスを提供できるのかをお話させていただきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

(司会) 地区連合会副会長

ありがとうございます。来年はもっと暑くなるのではないかとお願ひいたします。

地区連合会会長

萩野部長にお聞きしたいのですが、今度3・3・36号線が市民病院のところに大きな交差点ができますけれども、市民病院に入る車は結構多いのです。市民病院からはその辺、何か出ていますか。

道路部長

市民病院とも東京都は調整していると思いますが、今オートバックスから来る現道が今度Tの字でぶつかるので、交通量は町田街道のほうが若干減ってくると思います。町田街道側から病院に出入りしていただくということも考えていると思います。

地区連合会会長

なかなかイメージが湧かない人も多いと思うのだけれども、朝、立っていますと、結構迷う人がいるのです。ですので、入り口とか、出口だとか、その辺をはっきりしていただいたほうが使いやすいのではないかと思います。

道路部長

市民病院の出入りは、町田街道側に大きい出入口がありますので、現道の交通量が若干落ちればこちら側をメインに使えます。また、病院東側の道は変わらず使えます。ただ、今度ここから町田街道へ右折するのは難しいかもしれないです。左折はスムーズに出られると思いますが、もし右折する場合は西側から出たほうがスムーズかと思います。その辺は使いながらより安全な道を選択していただくかたちになりますが、交差点の名称がどうなるか確認をしておりますので、申し訳ございません。

地区連合会会長

朝、この通りを真っすぐ行く車、右折もいるのです。

中町中央町内会

駐車場はこの下にあるのです。

道路部長

市民病院のですね。分かっています。駐車場がここにあってもどちらでも出られるような構造になっています。

中町中央町内会

そうすると、右に行く人は、それから右にまた出なければいけないのですよね。

道路部長

今申し上げたように、ここから右へ出るのは、すいていけば出られますけれど、当然一時停止になります。

中町中央町内会

出られるのですか。

道路部長

出られます。ここはゼブラの線だけと聞いておりますので。

中町中央町内会

では、そっちのTの字が赤だったら右には出られるのですか。

道路部長

車が詰まっていなければ出られると思います。

この辺はいろいろな議論はあるところですが、交差点の間隔が近いので、警視庁としては廃止にしたと我々は伺っております。あるにこしたことはないというのは十分承知しておりますが、今回はここは撤去して、その機能は全部ずれます。今までここを往来していた人はいろいろなルートを選択ができますので、使いながらより安全な道を選んでいただきたいと思います。

(司会) 地区連合会副会長

これは来年の懇談会の課題になるかと思います。だから、実際、運用してみても、多分、結構不便になるかと思います。あの信号がなくなると結構困りますよね。だから、部長、そういうことを頭に入れて東京都と交渉をやっていたら、警察とも交渉しないといけないのかと思いますので、よろしくをお願いします。

道路部長

承知しました。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、残りの時間で少しお話をさせていただきます。

今の議論の中の話も私からさせていただきます。さっきの3・3・36号線ですが、町田消防署が向こうに行った一番の理由は、この橋を前提にしているのです。滝の沢のほうまでずっと回ってくる必要がなくて、緊急車両というのは赤信号で突っ込んできますからそのまま来る。つまり、署から3分あれば病院まで来てしまうのです。もっと言えば、緊急車両の場合は5分ぐらいで中央橋まで上がってしまうのです。この橋ができる前提で、旧緑小に消防署を持ってきたのです。今は橋がないから皆さん分からないですが、ものすごく早いです。あそこだけを走るというのは時速60kmぐらいあれば3分で来てしまいますし、真ん中の中央橋までも5分あれば十分来ます。そういう意味では、緊急車両にとっては直線のところは非常に有利なので、東京消防庁としてもあそこの場所を選んだ、つまり、3・3・36号線を見越して選んだということなのです。

逆側、忠生公園大橋の側に行くときもあそこを行けば非常に早いです。つまり、それこそ5分あれば常盤まで一気に行ってしまいますので、選んだ場所としては、幹線道路に面して大きな片側2車線道路にすぐたどり着けるといっているのであそこになっているので、先の中心市街地の防災、救助、緊急事態は非常に早く出られると思っています。前のところははしごが出るのが結構

大変だったのです。前の道が狭いところではしごが出るというのは、全部止めないとしごが出られないのです。そのようなことをしているよりも、いきなりぱっと来られるので、今のほうが中心市街地の高層ビルで火事があったとしても対応がうまくいくのではないかと思っています。あそこを選んだというのはそういう意味です。

さっきの交差点の話なのですけれども、私もずっといつもはっきり言っていらいらしていたことがあります。例えば、私の住んでいる広袴というのは鶴川駅のほうなのですが、鶴川駅は東側だけだったのですが、今、西側に新しく交通広場ができたのです。交通広場が開通してから駐車禁止にするまで1年かかったのです。それまで止め放題だったのです。駐車禁止のポールが立っていないのです。ずっと要望して、1年して担当者が2人現場に来て、では、立てようということで帰って、担当者は全部桜田門から来ているのです。桜田門から来て、現場の駐車禁止のポールを1本立てるために帰って、発注して、立ったかどうかまた確認に来るのです。ものすごく時間がかかるのです。1本の駐車禁止のポールを立てるのに1年かかるのです。

シバヒロの話は、5年とか10年たったら集会施設みたいなものを考えますと私が言ったのです。結局10年たってできていないから、はっきり言うてしまうとうそをついている状態なのです。実は、あんなに人気になると思っていなかったのです。だから、あんなに使い倒されるぐらい使われてしまうと、芝をやめて何か建物を建てるというとなんか言われそうで決断できないという状況です。

9月16日に忠生スポーツ公園ができました。非常に利用者が多いです。聞いた話では、夜8時でも子どもが遊んでいるそうです。芝生の広場なので、やたら駆け回ったり何かしていると。3人でやるバスケのコートとか、壁打ちのテニスとかは音があまり響かないので夜でも、高齢者は朝の6時オープンと同時に使っているのです。昼間はピクニック風にして、さっきの簡易の小さいテントを持ち込んできて、あそこで親子で遊んでいるのです。

実はシバヒロは、芝生の管理だけで2000万円以上かかっているのです。忠生スポーツ公園も多分すごくお金がかかるのですけれども、きちんとした芝生を維持しようという方向で今やっています。一般に財政当局は、芝は経常経費で、経常経費は前年度対比5%カットとかよく言うのです。でも、それではできないので、今、公園の担当課にはどうするか考えてほしいと言っています。実は今の草刈りの頻度では3年すると芝が消えてしまいます。草地になってしまいます。草地になってしまつて、今度は草刈りだけをすると、根っこが強いのが残っているからそこに引っかかって転ぶとか、あるいは土になってしまつているものが出てきて、とてもそういう遊びができるような状態ではなくなるので、芝生として残すには、夏場、最低でも月1回ぐらいは刈り込まないと芝生は残らないのです。うんと刈り込むと、今度は芝生は

頑張るのです。ですから、そういう維持管理の仕方にしようということで、今考えています。

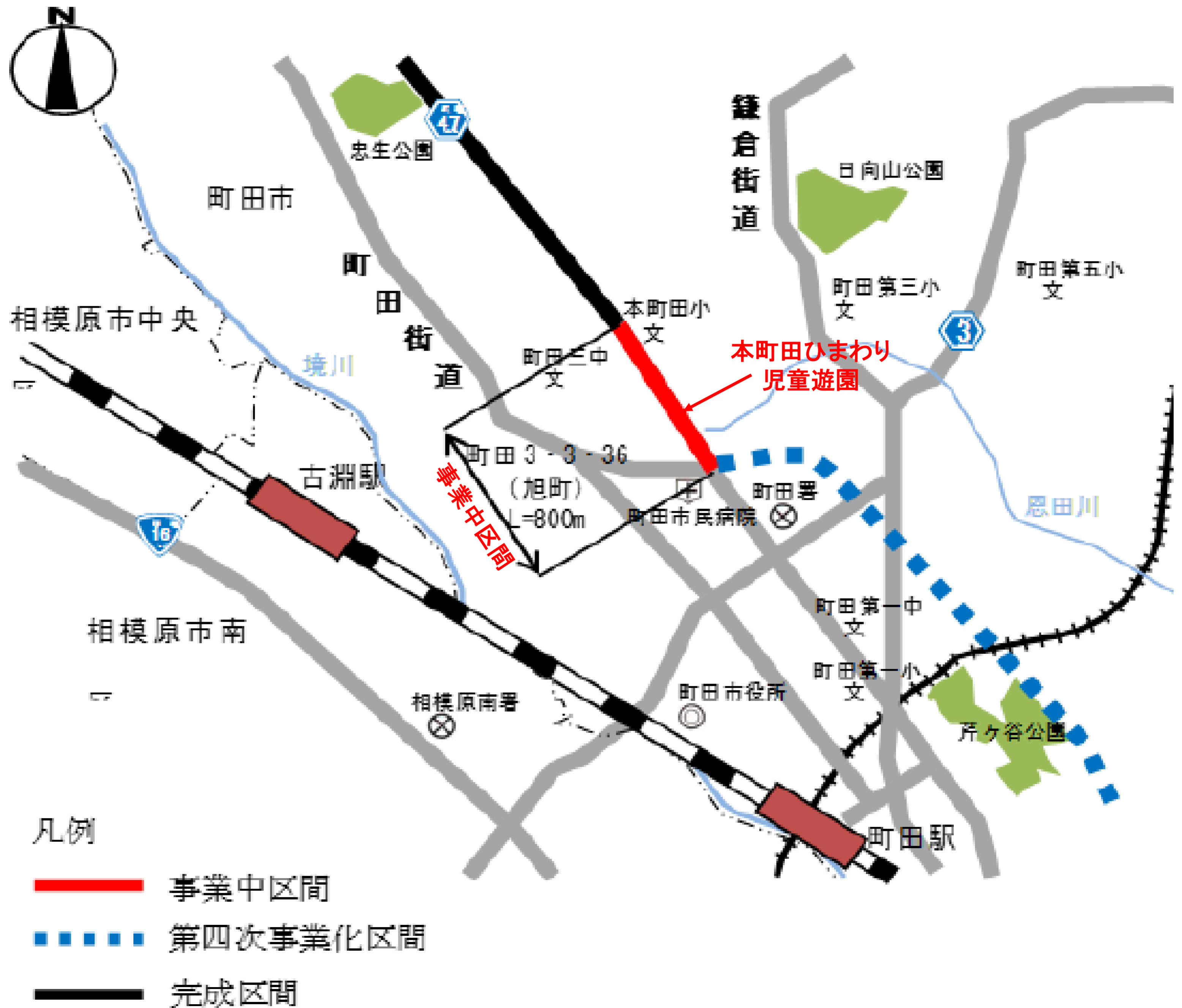
お祭りのときに保健所が気にしているのは、砂とかが舞い上がるほこりなのです。今のシバヒロは芝生を張っているから舞い上がらないのです。あそこで飲食をしてもらおうとか、ビールのお祭りをやるとかなったら、非常に楽なのです。でも、普通の砂のグラウンド、例えば、第一小学校のグラウンドでビール祭りをやるとなったら、どうやってほこりを防ぐのですかとなくなってしまって、芝生でやるときよりもより注意が必要となるのです。ですから、あそこが使えているのは、実は毎月きっちり刈り込んで、さっき言ったように2000何百万円かかけて維持しているから使い込めるのです。そういう意味では非常に貴重なところなので、建物を建てるのはなかなか難しいかと今のところは思っています。

もっといいのは、あそこは町田街道に面しているので、都心部で6000㎡の芝生の広場があるまちがないのです。日本の各都市は都心部に建物を建ててしまうのです。都心部にこのような芝生のきれいなところは残らないのです。だから、ほかのまちの人が車で来て小さい子が芝生で遊んでいるのを見ると、このようなところもあるのだと一種の宣伝になっているのです。芝生がきれいで安全だからというので、保育園の子どもが来ているのです。シバヒロはいろいろな魅力があるということが外の通りがかりの人にも分かるので、今の状態で、やっていきたいと思っています。樹木が駄目ならほかの手段を考えて陰をつくるというのも必要かと思っています。

○閉会の挨拶（町田第二地区町内会・自治会連合会副会長）

議題 1 町田都市計画道路 3・3・36号相原鶴間線について 投影資料 1

案内図



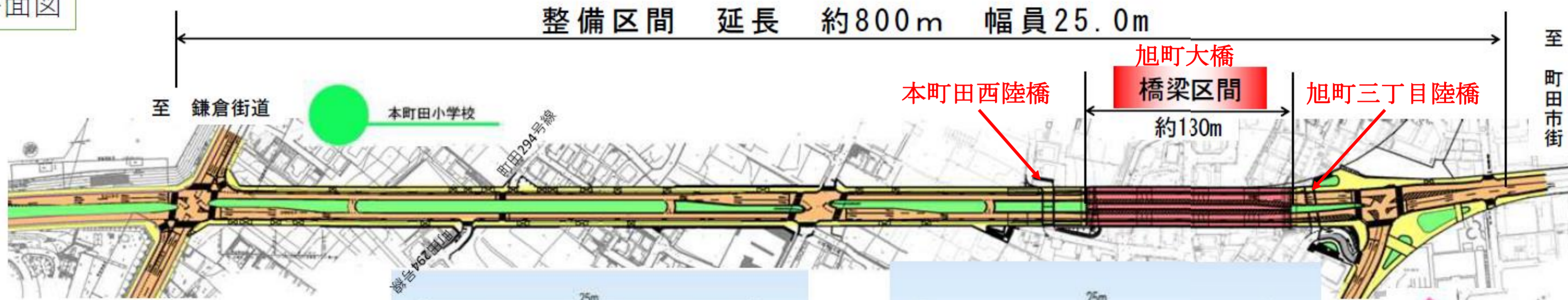
議題 1 町田都市計画道路 3・3・3 6号相原鶴間線について 投影資料 2

イメージ



議題 1 町田都市計画道路 3・3・36号相原鶴間線について 投影資料 3

平面図



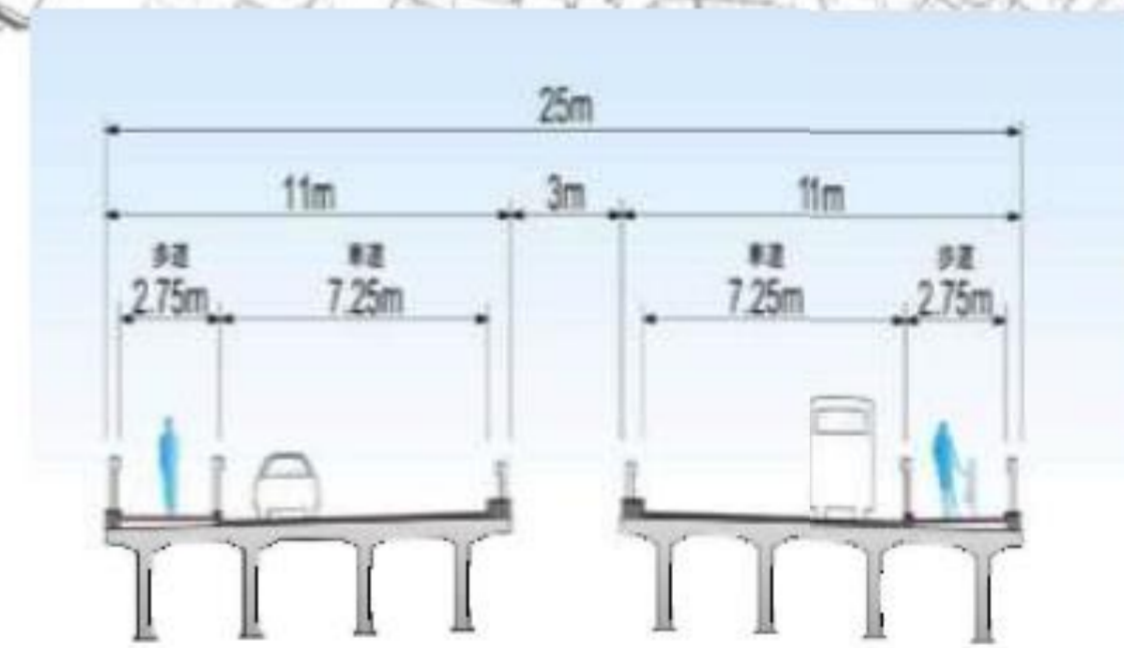
至 町田街道

凡例

	歩道
	車道
	橋梁
	植樹帯
	現道



横断図 (一般部)



横断図 (橋梁部)